

やまがた市議会報

発行 山形市議会 編集 山形市議会事務局 山形市旅籠町二丁目3-25 電話 642-8404 平成26年2月1日 / 187号
ホームページ <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/gikai/> やまがた市議会 検索



はまがたのお宝紹介シリーズ⑤【堀込せり】

山形市前明る地区では、地下から豊富に湧き出るきれいな水を利用してせりが作られているベニ。納豆汁に入れると、おいしさも彩りも倍増するベニ。

▲つらい姿勢もなんのその。みんながおいしく食べる姿を想い、せりに付いた土を笑顔で洗い流しています。(取材協力/山口和夫さん)

12月定例会

市有施設の指定管理者を議決

総額20億2,005万円の一般会計補正予算を可決

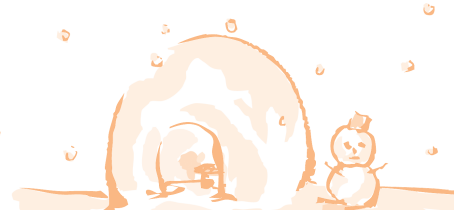
市民へ議会活動をお伝えする議会報告会を市内8カ所で開催

12月定例会は、11月28日から12月13日までの16日間の日程で開かれました。

今定例会の案件は、平成25年度一般会計補正予算、市が所有する30施設の指定管理者の指定など市長提出の議案34件、9月定例会で継続審議となった公契約条例の設定についての議案1件、免税軽油制度の継続を求める意見書などの議会案2件です。

審議の結果、指定管理者の指定（斎場及び霊柩車、山形テルサ）の議案2件は賛成多数で可決、公契約条例の設定については引き続き継続審議、その他の議案および議会案については全員異議なく可決および同意しました。

また請願は、継続審査中の1件と新たに提出された2件を審査し、2件を採択、1件を不採択としました。



目次

一般質問	2
予算委員会審査報告	8
常任委員会審査報告	10
議会運営委員会視察報告	13
議会の活動を紹介します	15
議決議案一覧	16

【お詫びと訂正】 やまがた市議会報186号（平成25年11月1日発行）の20ページ中段「議案の賛否一覧表」の表中において誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
誤 議第66号の議決結果「可決」→正「認定」

一般質問



山形の将来を担う若者のため
活力ある市政運営について問う



軽度・中等度難聴児に
補聴器購入費の助成を

高橋 公夫 議員

質問 本市の障がい者虐待に関する通報や相談、届け出の件数とその対応を聞きたい。

答弁 平成24年10月から25年11月末までに17件あり、虐待と判断したのは6件である。通報などを受けた場合、障がい者への相談や助言を行い、内容によっては、障がい者保

護のため短期入所などの対応をしている。

質問 障がい者就労施設からの物品などの調達に関して、本市の25年度の調達方針策定の進行状況はどうか。

答弁 25年中に策定できる見込みである。物品や役務、委託などの区分を設け、年度単位で目標金額を示していく。

質問 身体障がい者手帳の交付対象にならない、18歳未満の軽度・中等度難聴児の補聴器購入への助成制度を創設してはどうか。

答弁 県に補助制度の創設を要望するとともに、本市において補聴器購入費の自己負担が原則3分の1程度となるよう助成を実施していく。

●一般質問は内容を要約して掲載しています。また、議会ホームページで一般質問の録画映像をご覧ください。

※ エピペン…アナフィラキシー補助治療剤。アナフィラキシーとは、アレルギー反応の1つ。

質問者

質問の要旨

高橋 公夫 (市民連合山形市議員) 障がい者福祉施策、学校給食における食料アレルギーへの対応、子育て支援ほか

遠藤 和典 (国民革新懇・望森) 山形市地球温暖化対策実行計画の実効性を高めるための提言、スポーツと地域振興、道の駅の活用ほか

武田 聡 (緑 政 会) 山形の観光を更にPRしよう、雇用は生活の基盤、スポーツ振興策の更なる強化ほか

田中 英子 (国民革新懇・望森) 斎場の今後、山形の観光振興、食育、清風荘、ふるさと納税

丸子 善弘 (国民革新懇・望森) ドーム型競技場、山形駅南アンダー汚染土壌訴訟、119番通報訴訟、山形市の審議会・審査会等のあり方

佐藤亜希子 (国民革新懇・望森) 福祉灯油の実施、店舗や事務所へのリフォーム助成制度の創設、点字ブロックの改善ほか

渡辺 元 (緑 政 会) 観光への取り組み、市民の安全・安心、子育て支援施策、中心市街地の施設整備

加藤 孝 (市民連合山形市議員) ものづくりと伝統工芸の育成、技能五輪開催と若者の育成、製造品出荷額の向上を目指す取り組みほか

付対象にならない、18歳未満の軽度・中等度難聴児の補聴器購入への助成制度を創設してはどうか。

答弁 県に補助制度の創設を要望するとともに、本市において補聴器購入費の自己負担が原則3分の1程度となるよう助成を実施していく。

質問 済生館の医師を学校に派遣し、全教職員に食物アレルギー対応の研修を行うべきではないか。

答弁 25年度に済生館の医師を講師としてエピペン処方研修会を実施している。エピペンの処方を受けている人が在籍する学校では、対応マニュアルなどが整備され、校



▲地域の活性化や潤いをもたらすオープンガーデン

質問 省エネルギー機器の導入や設備改修などにより、J-クレジット制度の認証を受けることで、温暖化対策や財源確保に繋がってどうか。「温暖化対策自体が財源だ」新たな仕組み乗るのは今だ」

答弁 大規模設備改修や、広域環境事務組合が進めているエネルギー回収施設での活用の可能性を検討していく。「クレジット」活用しての財源確保 検討したが今はまだなし」

質問 市民に省エネの成果を身近に感じてもらうために、節電量を数値化して商品券などに交換できるポイントを付

質問 オープンガーデンの取り組みを推奨し、市民の緑化への意識高揚や地域振興などを図ってはどうか。「手入れが増える地域も奮う」

答弁 市民のオープンガーデンへの取り組みの希望があれば、本市としてどのような支援が可能なか検討していく。「華が咲き 人が集いし我が庭に オープンに向け知恵を絞らん」

質問 7年後の東京オリンピック・パラリンピックでの本市出身選手の活躍に向け、育成に力を入れるべきではないか。「見てみたい 地元市民の躍動を 7年先の東京で」

答弁 大会参加選手への出場奨励費交付など選手の育成や強化に取り組んでおり、今後継続して中学・高校生のレベルアップに努めていく。「持たせましよう 夢と希望を子どもらに する見る支える東京五輪」

質問 地域振興と地場産品の流通拠点となるよう、卸売市場敷地などに道の駅を整備してはどうか。「道の駅 市内に一ついるだろう 地場産品

質問 山形大花火大会は、新産業団地整備に伴い平成27年以降の開催場所を調整しているとのことだが、交通アクセスなども含めどのように考えているか。「凄魂の 感動運ぶ夢花火 毎年見たい夜空への華」

答弁 平成26年は現在地で実施する方向で山形大花火大会協議会と協議を進めている。27年以降の継続開催に向け、本市も全面的に支援していく。「山形の 夜空彩る凄魂の 未来夢見る道標かな」

質問 今後の放課後児童クラブの推進策をどのように考えているのか。また、本市の子ども・子育て会議の中で大きな課題と捉え、継続的に取り組んではどうか。

答弁 国の運営基準の審議内容に注目し、学校活用を軸にハード・ソフト両面から支援



遠藤 和典 議員

※1
手入れた 自慢の庭を ご覧あれ
緑が増える地域も奮う



▲補聴器購入の助成で不自由のない環境を

内での研修も実施している。

質問 婚姻歴の無い一人親世帯の経済的負担軽減のために、保育料算定の際、寡婦（夫）控除を「みなし適用」すべきだと考えるがどうか。

答弁 婚姻歴の無い方も所得税や市県民税の寡婦（夫）控除を受けられるよう税制改正を国に要望するとともに、本市において改正に先立ち保育

料算定時の「みなし寡婦（夫）控除」を実施する。

質問 今後の放課後児童クラブの推進策をどのように考えているのか。また、本市の子ども・子育て会議の中で大きな課題と捉え、継続的に取り組んではどうか。

答弁 国の運営基準の審議内容に注目し、学校活用を軸にハード・ソフト両面から支援

していく。放課後児童健全育成事業の充実、今後の大きな課題として引き続き議論していく。

質問 ニュータウンへの中核施設の計画策定を前倒して、早期に施設の方向性を示すべきだと考えるがどうか。

答弁 第2期経営計画期間内で取り組む蔵王ジャンプ台の整備や、現在凍結中のドーム

型競技場整備事業の進行状況などを考慮し取り組んでいく。

質問 防火や防災の意識向上のため、女性防火推進員を積極的に増やしてはどうか。

答弁 地域に応じた防災活動への女性の参加を勧めるため、自主防災組織リーダー研修会などを紹介している。関係機関と連携しながら、組織の拡大を支援していく。

※1 遠藤和典議員が質問の一部を短歌形式で行い、市長も同様の形式で回答した。
 ※2 オープンガーデン…個人の庭を一般に公開する取り組み。
 ※3 凄魂…平成25年に開催された山形大花火大会のテーマ。「魂（こころ）からの凄い感動を味わってほしい」との願いが込められた造語。



様々な視点からの観光振興策で
地域経済の活性化に繋げるべき！

武田 聡 議員



▲東北六魂祭の開催で東北地方と山形に活力を

質問 東北六魂祭の対応で過去の開催地での課題を踏まえどのように対処するのか。また、開催時期やメインとなる通り、開催地の費用負担などはどのように想定しているのか。

答弁 開催に向け、費用負担の件も含めて事業パートナーである株式会社電通をはじめ関係機関と協議しており、交通規制や警備、トイレの確保なども含め安全面を第一に考え準備を進めている。開催日程や場所などは、平成26年1月末ころまでに明らかにできるものと思っている。

質問 食・歴史・文化・スポーツなど山形の秋の魅力は多いが、全体としてのPRが不足していると感じる。山形の秋をひとつのパッケージとしてアピールしていくことが必要ではないか。

答弁 パッケージPRなど、より効果的な周知方法を今後検討していきたい。

質問 下楯沢の新産業団地に関して、アンケート実施後の状況はどうか。また、市長のトップセールスの状況を聞きたい。

答弁 アンケート結果を受けて14社を訪問し、誘致活動を行ったが立地には至っていない。東京で行われる市内金融機関の取引企業との情報交換会や、山形に縁のある経済人で組織する「がんばれ山形ネットワーク全体会議」など

を通じて、トップセールスも含め積極的に企業を誘致していく。

質問 本市出身の選手のサポートを含め、東京五輪にどのような関わりを持ち、対応していくつもりなのか。

答弁 日本経済への好影響を期待する一方で、東京への国の予算や民間資本の集中的な投資が想定される。経済状況にも注目していくが、外国人観光客の増加も期待されるため、いかに山形の良さを知らせてもらい、山形に来てもらえることが重要になっていくと考えている。

質問 LINEなどの普及により利便性が高まる一方、SNSでのネットいじめが増えている。どのように考え対応していくのか。

答弁 SNSなどによる誹謗中傷でいじめの温床になる可能性があり、事例も数件確認している。今後も、情報モラルを各学校で指導するとともに、国の指針に基づいた具体的な指導例を各学校に紹介し、より一層の情報モラルの向上に努めていきたい。

質問 道徳教育を正式な教科として取り扱うことになれば、評価手法や判断基準を含めて教育現場に多大な影響が出てくるのが想定される。教育委員会として、どのように対応していくつもりなのか。

答弁 具体的な施策は、これから議論になると把握している。本市の小・中学校では、道徳教育の全体計画を作成して計画的に指導しているが、道徳の教科化決定の有無に関わらず、今後も道徳教育の充実に努めていく。



重粒子線がん治療を軸とした
医療ツーリズムの検討を

田中 英子 議員

質問 山形大学医学部に重粒子線がん治療施設が設置されるが、重粒子線がん治療を軸とした、山形らしいおもてな

しを取り入れた医療ツーリズムを積極的に推進してはどうか。

答弁 重粒子線がん治療施設が実現すれば東北・北海道地

区で初めてとなり、多くの患者やその家族が訪れることが予想される。また、観光振興の促進も期待されるため、PET検査と連携した医療ツーリズムが成り立つのかも含め、関係団体と連携しながら情報を収集していく。

質問 国の登録有形文化財である清風荘は、これまでの公民館のような利用を制限して

大切に保存していくべきと思うがどうか。

答弁 茶会や結婚披露宴などに利用されてきた歴史的経緯もあり、条例や規則で飲食を禁止する規定は設けていない。節度ある利用をお願いするなど、今後とも登録有形文化財として大切に保存していく。

質問 他の市町村では、ふるさと納税をした人に地元の特

産品を贈る特典を与えるなど、納税額の増加につなげている。本市にも魅力ある地場産業があることから、返礼の品を考え直し、税込アップにつなげてはどうか。

答弁 山形へ継続的に関心を持っていただけるような取り組みとなるよう、イベント案内や山形で暮らす障がい者の方々の作品を使うなど、より

※1 LINE…ライン。無料で通話やメッセージ交換のできるアプリケーションサービス。
 ※2 SNS…social networking service。インターネット上で社会的ネットワークを構築するサービス。
 ※3 PET検査…陽電子放射断層撮影装置を用いた検査。がんの早期発見ができることで近年注目されている。



▲土壌汚染訴訟の和解が成立した山形駅南アンダー

質問 ドーム型競技場とサッカースタジアム建設は、切り離して考えていくべきだと思いますがどうか。

答弁 ドーム型競技場の建設は、サッカースタジアム建設の方向性の確認との兼ね合いで判断したい。

質問 ドーム型競技場建設についての結論はいつ頃出すのか。

答弁 サッカースタジアムの建設について、平成25年12月中に株式会社モンテディオ山形が方向性を出したいと報道されている。県やモンテディオ山形と率直に話をして、任

期中には結論を出したい。

質問 25年4月開通の山形駅南アンダーの土壌汚染訴訟の和解において、3億円強の損失を受けたことを市民に説明すべきだと思うがどうか。

答弁 25年10月1日の和解成立後、概要をホームページに掲示して、市民への周知を図っている。

質問 土壌汚染などの問題については、情報を共有し、迅速に判断して行動すべきと思うがどうか。

答弁 業務を行う上で情報の共有は重要であり、土地の買収に携わる職員だけではなく職員全員で情報を共有するため、公共用地の取得における土壌汚染への対応の徹底についての周知を図り、再発防止に努めている。

質問 119番通報に関する

た、認知度が高まるようさまざまな面から考えていく。

質問 栄養教諭を配置して各学校を定期的に巡回することで、食育を進めていくべきだと思うがどうか。

答弁 学校給食センターに4人の管理栄養士を配置し、きめ細やかな食育を推進している。今後も、学校と連携しながら指導内容を充実していく。

質問 斎場の運営は、建て替えも含め今後の喫緊の課題であり、方向性を明確にすべきだと思うがどうか。

答弁 建築から29年が経過しているが、耐用年数としては今後約20年は使用可能だと考えている。新たな斎場の建設については、時期を逸することのないよう調査していく。

質問 仙山線の所要時間の短

縮や増便で、観光・通勤・通学など仙台市との総合交流を高めるため、ノンストップ便の運行や一部複線化などをJR東日本に要望すべきではないか。

答弁 沿線の利便性やJR側の費用効果など、さまざまな課題が考えられるため、今後、仙山線整備促進同盟会の中で検討していく。

である「運営にあたっての特殊な専門性」「地域と密着した運営の必要性」「他団体との信頼関係等」などを考慮し、総合的に判断して公募・非公募を決定している。

質問 指定管理者の選定基準や経過、審査委員会の構成はどうか。

答弁 総務部長・財政部長・企画調整部長や学識経験者3人の計6人を審査委員として、提案者からの事業計画書、収支予算書などの申請書類やプレゼンテーションをもとに、「平等利用の確保」「施設の設置目的の効果的・効率的達成」「施設管理を安定的に行う能力」「施設の性質又は目的に応じたその他必要な基準」の4項目を審査し、項目ごとに点数をつけて候補者として選定している。

※ ノンストップ便…直行便。



丸子 善弘 議員

市民の立場に立った わかりやすい市政を



▲山形の魅力を全国へ伝えよう

効果的な方法を検討しており、本市にふさわしい返礼の在り方を検討していく。

質問 済生館中央親水広場は、知名度が低く訪れる人が少ないと感じる。積極的にPRを行い、新たな観光名所としてはどうか。

答弁 本市の公式ホームページに写真を掲載するなど、積極的にPRを行っていく。ま

た、認知度が高まるようさまざまな面から考えていく。

質問 栄養教諭を配置して各学校を定期的に巡回することで、食育を進めていくべきだと思うがどうか。

答弁 学校給食センターに4人の管理栄養士を配置し、きめ細やかな食育を推進している。今後も、学校と連携しながら指導内容を充実していく。

た、認知度が高まるようさまざまな面から考えていく。

質問 栄養教諭を配置して各学校を定期的に巡回することで、食育を進めていくべきだと思うがどうか。

答弁 建築から29年が経過しているが、耐用年数としては今後約20年は使用可能だと考えている。新たな斎場の建設については、時期を逸することのないよう調査していく。

質問 仙山線の所要時間の短

縮や増便で、観光・通勤・通学など仙台市との総合交流を高めるため、ノンストップ便の運行や一部複線化などをJR東日本に要望すべきではないか。

答弁 沿線の利便性やJR側の費用効果など、さまざまな課題が考えられるため、今後、仙山線整備促進同盟会の中で検討していく。

保護者と子どもが 安心できる保育環境を

佐藤亜希子 議員



質問 平成19・20年度に行われた灯油購入助成事業を、生活弱者世帯に対し、市が独自に行うべきではないか。

答弁 灯油購入助成事業は、灯油価格が著しく高騰したことに伴い、冬期間における経済的負担を軽減するために行ったものであり、補助することは考えていない。

質問 群馬県高崎市で行われている店舗などのリフォーム助成制度を創設することで、中心市街地の活性化などにつながると思うがどうか。

答弁 補助目的を明確にした上で、他市の事例も参考にし



▲グリーンベルトやドットラインで通学路の安全を確保

ながら、第2期の中心市街地活性化基本計画に反映していく。

質問 歩道の点字ブロックは、弱視の方でも色を区別できるように改善すべきだと思うがどうか。

答弁 中心市街地など景観に配慮する必要がある所は、視覚障害者福祉協会と協議の上、色彩を決定している。改修が必要になった場合も同様の対応をしていく。

質問 通学路の安全を確保するため、グリーンベルトを市内全域の通学路に整備してはどうか。

答弁 バス路線の通学路で、路肩に75cm以上の歩行者空間が確保されている路線に設置している。バス路線以外でも歩行空間が確保できる所は、関係者などと協議の上、対応

していく。

質問 子ども医療費助成の外来診療分を、中学3年生まで拡充してはどうか。

答弁 安心して子育てができる環境づくりに総合的に取り組んでいるところであり、子育て支援施策全般の拡充を見据えながら、今後の検討課題としていく。

質問 妊娠中でも認可保育所の申し込みができるよう、手続きを改善してはどうか。

答弁 年度途中の保育需要に対応するため、随時入所受け付けを行い、毎月の入所選考の対象としている。今後、仮申し込みを受け付けている自治体の実態を調査研究していく。

質問 子育て中の市民の意見は、どのように反映していくのか。また、保育所入所者向

けのアンケートを実施すべきだと思うがどうか。

答弁 子ども・子育て会議での協議を重ね、市民の意見が反映されているか確認しながら計画を策定したい。保育所入所者向けのアンケートは、対象者がニーズ調査の対象に含まれているため、現段階で行う考えはない。

質問 子どもたちの発達を守り、保護者の就労を保障するためには、制度が変わっても保育の質を後退させてはならないと考えるがどうか。

答弁 保育の本質を変えることがあってはならないと考えており、子どもたちがのびのびと身体を動かし、心を開放しながら豊かな体験ができ、保護者が安心して就労できる保育環境をつくりあげていくことが大切である。

中心市街地の活性化と 子育て支援施策の推進を

渡辺 元 議員



質問 平成26年に開催されるデスティネーションキャンペーンは本市をPRする絶好の機会だと思うが、どのよう

に連携して取り組むのか。

答弁 広域連携による誘客事業が不可欠と考えている。「めため」でた「花のやまがた観光圏推進協議会」などと連携

し、旅行商品の企画作成を行っており、成功に向け積極的に取り組んでいく。

質問 25年10月の台風で被害にあった東京都大島町では、夜間に避難勧告を出さなかったことが問題視されている。本市では、夜間であっても勧告などが発令されるのか。また、熊本県阿蘇市で取り組んでいる日没前の予防的避難へ

の考え方はどうか。

答弁 避難の必要があれば、夜間でも勧告などを発令する。予防的避難は、今後研究していく。

質問 土砂災害警戒区域などの指定を受けた区域の土砂災害ハザードマップの作成を急ぐべきではないか。また、大雨の場合などの避難の必要性は、どのように判断するのか。

答弁 完成目標を28年度として進めるが、可能な限り早期に完成したい。避難の必要性は、気象台などの情報を基に、職員のパトロールや地域住民からの通報による現場状況の確認も踏まえ判断する。

質問 横断歩道や信号機の設置は、簡単に実現しないのが現状である。市民の安全・安心のため、危険箇所への早期

※ デスティネーションキャンペーン…J Rと自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーン。デスティネーションとは旅行などの目的地のこと。



▲スカイツリーのエレベーターは市内企業製の大型滑車を使用

質問 地場産業としての工業製品の宣伝を積極的に行うべきだと考えるがどうか。

回答 本市は高い技術力を持ち、市外から直接指名買ひされる企業が存在する一方、本市として売り込むべき最終製品が少ないという事実がある。県や産業支援機関が開催する商談会などへの市内企業のさらなる参加を促すとともに、市長として自らセールスを行っていく。

質問 本市の工業製品出荷額は毎年減り続け、平成元年の約半分に落ち込んでいる。原因はどこにあると認識し、出

質問 西部工業団地の現状分析と今後の展望はどうか。

回答 西部工業団地の現状分析と今後の展望はどうか。

質問 西部工業団地の現状分析と今後の展望はどうか。

回答 西部工業団地の現状分析と今後の展望はどうか。

質問 西部工業団地における新たな取り組みとして、全国で活躍している本県出身者や各種学術機関と連携すべきだと考えるがどうか。

回答 西部工業団地における新たな取り組みとして、全国で活躍している本県出身者や各種学術機関と連携すべきだと考えるがどうか。

質問 西公園の管理は、「西公園を綺麗にする会」や多くのボランティアに支えられている。今後の管理の在り方を検討すべきだと思うがどうか。

回答 一部業務委託を行うとともに、ボランティアの協力を得ながら直営で管理している。今後は、指定管理者の導入を検討していく。

質問 スマートインターの設置や近隣地区で収穫された野菜の産直販売など、総合的な西公園の将来像を検討すべきだと思うがどうか。

回答 30年度までに東日本高速道路株式会社整備する予定の山形パークキングエリアとの連携を図り、各種イベントの充実とともに、利用者の拡大に努めていく。

質問 日本の良き伝統と文化の育成と発展のため、子どもたちが民謡や邦楽、祭りに触れる授業を取り入れるべきだと考えるがどうか。

回答 小・中学校では、音楽の時間に和楽器の学習を行っているほか、地域の伝統芸能の指導者を講師に招き、体験的な学習を行っている。今後とも、各学校で地域や日本の伝統文化に触れる学習を推進し、伝統芸能の継承に努めていく。

※ スマートインター…ETC専用のインターチェンジ。



工業製品出荷額の向上を図れ

加藤 孝 議員



▲移転後の利用方法が課題となる県民会館

設置を働きかけてはどうか。

回答 市民の安全・安心の確保に向け、危険箇所には信号機や横断歩道が早期に設置されるよう、今後も警察に対し強く要望していく。

質問 26年4月の待機児童の見込みはどうか。また、施設整備の考え方はどうか。

回答 あたご保育園の増築を行うなどの対策を図り、26年

4月の待機児童の解消を目指していく。また、26年度においても、民間立保育所の施設整備に対する支援などに取り組んでいく。

質問 子ども・子育て支援事業計画の策定には、市民意識の把握と民間事業者との連携が重要だと思いが、新制度の計画策定に対する思いを聞きたい。

回答 計画策定に当たっては民間事業者の意見を聴くことが義務付けられており、会議参加者から議論をいただきながら策定していく。市民、事業者、行政が一体となって計画を策定し、よりよい子育て支援の施策を推進していく。

質問 県民会館が山形駅西口に移転すると中心市街地に与える影響が大きい。移転とそ

の後の利用をあわせて考えるように県と議論していくべきではないか。

回答 新県民文化施設は、建設に向けて着実に前進している。現在の県民会館について、今後の利用方法はまだ示されていないが、中心市街地にとって重要な場所であるため、集客機能が発揮されるよう積極的に提言していく。

予 算

委 員 会

予算委員会は12月5日に開会し、平成25年度山形市一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療事業会計、介護保険事業会計、区画整理事業会計、駐車場事業会計、公設地方卸売市場事業会計、農業集落排水事業会計の各補正予算の議案8件について、各担当部長から議案に対する説明を受けて質疑を行った後、それぞれ所管する分科会に付託し、審査を行いました。

12月11日に委員会を再開し、各分科会委員長から審査の経過と結果について報告を受けた後、採決した結果、全員異議なく可決すべきものと決定しました。

総務分科会

市税収入による歳入の補正などを審査

委員 労働者の3割から4割が非正規労働者と言われている中で、個人市民税の収入を4億円増額するということは、正社員が増加していると考えて良いか。

市民税課長 平成25年10月の

県内の有効求人倍率は1・04倍で、6年9カ月ぶりに1倍台に回復している。正社員の有効求人倍率も0・55倍で4カ月連続0・5倍台を維持しており、雇用は回復傾向にあると判断している。

委員 県で力を入れて取り組んでいる有機EL導入は、高額で補助率も低いと感じるがどうか。

企画調整部長

県の外郭団体である産業技術振興機構の補助制度を活用して実施するが、機器が汎用化していないので高額となっている。

委員

職員の退職手当が増額されているが、定年前に退職する人の人数とその理由は何か。

職員課長

定年以外の早期退職者は14人で、そのうち死亡での退職者は4人である。退職

の理由は、メンタル面や家庭の事情などがある。

委員 法改正による消防救急無線デジタル化に対し、1億2000万円以上に国からの補助はあるのか。

財政課長 補助金は1億2000万円であるが、それ以外の事業費にはば全額起債を充てられる有利な事業となっている。

委員

防災行政無線と消防救急無線の二つの基地局を一緒にすることで、経費の節減につながるようだが、重要なものを一つにまとめることで、災害時に支障はないのか。

総務部長

十分な強度の鉄塔を確保し、アンテナは市全域に届くように、それぞれ3本ずつ建てる。防災行政無線のメインは市庁舎屋上に、消防救急無線の



▲改修中の市陸上競技場東側にある軍馬慰霊碑

メインは消防署西崎出張所に建て、電波の届かない地域は卸売市場と消防署蔵王温泉出張所に鉄塔を建てて対応する。

委員 体育施設整備事業債の減額が大きいですが、どのような理由によるものか。

財政課長 市陸上競技場の天然芝から人工芝への張り替えで、当初は天然芝を撤去する際に産業廃棄物として処分することを想定していたが、埋め立て処理になったことや競技場東側の軍馬慰霊碑の移動が必要になるなど、工事費を縮減したためである。

◇一委員から、債務負担行為に関し、消費税の税率変更による限度額の引き上げは、負担が増えるため問題がある、との意見がありました。

厚生分科会

年々増大する福祉の需要山形市の状況は？

委員 子宮頸がん予防接種は副反応により控えられているが、接種状況はどうか。

健康課長

4月から10月までを比較すると、平成24年度は2725回、25年度は375回で約7分の1になっている。

委員 斎場の指定管理料は、どのように考えて限度額を設定したのか。

健康課長

現在の委託料に、市が直接支払っている燃料費や修繕費などを加えている。また、今後の火葬体数の増加に合わせ、上乗せして算定している。

委員

生活保護の扶助費は具体的にどの項目が増えているのか。

生活福祉課長

25年11月末現在の生活保護受給者は1426世帯1820人で、保護率は7・16パーミルとなっている。また、生活扶助が5・46%、住宅扶助が5・86%、医療扶助が10%、全体で4・14%伸びている。

委員

障がい児通所の利用者に對する事業所の数はどうか。障がい福祉課長 25年9月現在の利用者は、児童発達支援

12月の主な補正予算 一般会計 20億2,005万円

- <主なもの> (千円以下切り捨て)
- 消防救急無線デジタル化整備事業 ……7億6,487万円
 - 防災行政無線整備事業 ……5億6,988万円
 - 生活保護費 ……2億2,622万円
 - 人件費 ……2億2,587万円
 - 自立支援給付費 ……1億8,869万円

※1 有機EL…有機エレクトロルミネッセンスの略。特定の有機物に電圧をかけると、有機物が光る現象のこと。低電力で高輝度の発光が得られる。
 ※2 起債…国、地方公共団体などが財政資金や事業資金を調達するために債券を発行・募集すること。



▲福祉施策のさらなる充実に期待

が107人、放課後等デイサービスが191人いる。今後も需要は増えていくと予想され、事業所はさらに必要だと考えている。

委員 福祉タクシー利用券の発行枚数と利用状況はどうか。

障がい福祉課長 24年度は約9万5000枚交付し、そのうち6万枚ほどが利用された。

委員 児童扶養手当の受給世帯はどのくらいか。

こども福祉課長 25年度末で1968世帯を見込んでいる。

委員 南沼原ひまわり幼稚園の改築内容はどのようになっているのか。

こども保育課長 昭和49年の設置から約40年が経過している。新園舎の面積は1143㎡で、現在の定員と同じ340人となり、平成26年3月完成予定となっている。

委員 国保の基金積立金の残

高はどのようになっていくのか。

国民健康保険課長 今約1億9000万円を積み立てると、25年度末で17億6731万3000円となる。

委員 保険給付費の伸び率は

委員 何%で見込んで、現在どのくらいになっているのか。

国民健康保険課長 当初予算では2・5%の伸び率を見込んでおり、直近で1・5%の伸びとなっている。

産業文教分科会

市有施設の運営管理費を審査

委員 電力小売市場の自由化により、他の地域の電力会社や特定規模電気事業者から電気を購入できるようになった。電気料金値上げの対応として、山形テルサなどの施設に新電力の導入を検討しているのか。

山形テルサ館長 スケールメリットなどにより単価が下がるのであれば、今後検討すべきと認識している。

委員 山形テルサのプロジェクト更新は、経年劣化が原因とのことだが、これまでの利用頻度はどれくらいか。

山形テルサ館長 購入してから13年が経過しており、修繕などができない状態である。24年度の利用は44件で、使用

料収入は154万円となっている。利用者が持ち込む機材が使用できないと不都合もあるため、定期的な機器更新は必要だと考えている。

委員 農地バンク法が成立し、農業の大きな転換期であると考えられる。本市にはどの程度の影響があり、今後どのように方策をたてていくのか。

農林部長 国はできるだけ農地を集積し作業を効率化していく方針であり、本市も農業振興基本計画で認定農業者数と耕作面積を増やしていくとしている。米の生産調整は、農地集積や農家の所得状況などを考慮し、県との協議も必要となる。有効な制度を積極的に利用していきたい。

委員 農地を集積して効率を上げることで、小さい農家が農業から離れ、耕作放棄地の増加につながると思う。良い面と悪い面をしっかりと把握していくべきではないか。

農林部長 大規模農家を増やす政策と現状の政策にはメリット、デメリットがある。今回の政策転換の中で、本市には中山間地域の農地もあることから、国で示している日本型直接支払制度なども組み合わせながら検討していく必要がある。

環境建設分科会

安全安心な生活につながる道路関係の予算を審査

委員 山形広域環境事務組合負担金の減額は、鉄・スクラップの価格上昇やアルミ需要の回復で資源物売却収入が見込みより増加したことが要因とのことだが、価格などはどのくらい上昇しているのか。

ごみ減量推進課長 以前は価格が低迷していたが、その後需要が回復しており、約20%強の回復を見込んでいる。

委員 都市計画街路事業費負担金などの路線が該当し、進行状況はどのようになっているか。

都市政策課長 該当している3路線は、新築西通り二口橋線が平成25年12月12日に開通、四日町日月山線が道路拡幅と馬見ヶ崎橋の工事を実施、旅籠町八日町線が用地補償を完



▲耕作放棄地をつくらない施策展開を

施している。

委員 社会資本整備総合交付金を減額して防災・安全交付金へ財源を組み換えているが、合計しても当初予算との差額が生じている。差額の事業への影響はどうか。

まちづくり推進部長 国で消費税の税率引き上げに関わる経済対策として、26年3月に補正予算が組まれると聞いている。25年度内に国の経済対策が決定した場合は、補正予算に計上して実施したい。

委員 道路維持補修事業は、技術者不足や資材の高騰などさまざまな問題があると聞いているが、それらへの対応はどうか。

道路維持課長 業者の作業状況や工事に対応できるかなどを確認し、綿密な打ち合わせを行いながら、実情に応じた対応をしている。

▲2車線化や歩道整備が行われた新築西通り二口橋線



▲2車線化や歩道整備が行われた新築西通り二口橋線

※1 農地バンク法…農業生産の大規模化など競争力強化を推進する農地中間管理機構の設立関連法。
 ※2 日本型直接支払制度…農業・農村が有する多面的機能の維持発展を図るため、地域内の農業者が共同で取り組む地域活動を支援する新しい制度。

常任委員会

常任委員会に付託された案件は、市有施設の指定管理者の指定、消費税率改正に伴う関係条例の改正など議案26件と継続審議中の議案1件です。

各委員会で詳細に審査した結果、斎場及び霊柩車に係る指定管理者の指定は賛成多数で可決すべきものと決定しました。また、9月定例会で継続審議とした公契約条例の設定は、全員異議なく引き続き継続審査すべきものと決定しました。そのほかの案件は、全員異議なく同意および可決すべきものと決定しました。

総務委員会

公契約条例の設定や指定管理者の指定などを審査

委員 公契約条例の課題が工事請負関係団体と業務委託関係団体で違う印象を受けるが、一つの条例でくくれるのか。

契約課長 工事請負関係団体では、重層化された構造の中で、末端まで作業報酬下限額が守られるのか、下請け業者で台帳の整備が負担になる、などの意見がある。業務委託関係団体では、公共事業で定める作業報酬下限額と民間で決める賃金との間に差が生じることが問題となっている。どちらにおいても賃金を上げていく考えは同じであり、一つの条例にすることは可能だと考えている。

委員 専門事業者団体の意見をたくさん聞かないと、条例の設定は難しいと思うがどう

か。

契約課長 下請けの専門事業者団体からも協力を得ないと実施は難しいとの意見を業界団体からもらっている。働く現場の将来を持続可能なものにするために、労働者の環境を改善することは共通認識であり、より深く理解してもらえるようにしていく。

委員 適正な賃金水準を確保することで、労働環境の向上を図り、将来的に安定した労働力確保につながることをより前面に出していく必要があると思うがどうか。

契約課長 現場で働く労働者の確保は絶対に必要で、そのためには適正な賃金が必要であるとの理解を関係団体から得ている。今後、専門事業者との話し合いの内容も伝えながら進めていく。

委員 山寺芭蕉記念館と最上義光歴史館の指定管理者に、



▲利用率の向上が期待される山寺芭蕉記念館

文化振興事業団が選定されているが、非公募の理由は何か。

文化振興課長 平成元年より業務委託で運営していたが、その後、18年から3年間と21年から5年間の2期を、指定管理者として非公募により指定している。非公募の理由は、平成元年から同施設を運営してきた中のノウハウや、資料の収集・保管などの専門性があり、専門の学芸員がいること、大学や研究機関、他の文化団体とのネットワークが事業展開に結び付いていることなどである。

委員 利用者増加に関する審査項目で、最上義光歴史館より山寺芭蕉記念館の評価が低い理由は何か。

文化振興課長 利用率の違いが一番の大きなポイントである。最上義光歴史館はボランティア団体「義光会」の活躍

も見込まれ、良い環境にある。芭蕉記念館は、芭蕉というテーマ性も芸術の面から高尚で奥が深いという条件を踏まえ、大人だけではなく児童・生徒なども親しみやすいよう展示を工夫するなど、リピーターを増やしていく努力が必要だと考える。

委員 芭蕉記念館の今後5年間の取り組みはどうか。

文化振興課長 外部からの利用拡大を図りながら、地元も大事にしてリピーターが増えるような取り組みを求めている。和室で演奏会を行うなど、市民により多目的な活用をしてもらおうような取り組みを工夫したい。

委員 病院事業管理者が済生館長を兼ねた場合の給与はどうなるのか。

職員課長 病院事業管理者が館長の事務を取り扱うことは可能であるが、給与が二重に支払われることはない。

厚生委員会

斎場の安定的な運営を懸念し熱い議論

委員 総合福祉センターの指定管理者は、なぜ非公募にしたのか。

福祉推進部長 運営に当たり特殊な専門性が要求される施

設であると判断し、非公募とした。

委員 指定管理者を選定している審査委員会の構成はどうなっているのか。

福祉推進部長 基本的には、総務部長、財政部長、企画調整部長と学識経験者3人の計6人で審査している。

委員 大曾根さわやか荘の指定管理者は過去に公募しているが、なぜ今回は非公募なのか。

長寿支援課長 地元で大曾根さわやか荘福祉の会ができたため、地域密着の施設ということから非公募とした。

委員 斎場の管理を株式会社1社に任せるとのことだが、本体事業と火葬事業の経理は分けるべきである。事業内容はどのように確認するのか。

健康課長 経理を分けることについては了解を得ている。毎年のモニタリングや毎月の報告を確認して検証したい。

委員 指定管理者の業務を営業の手段として使わないよう、どのように指導するのか。

健康課長 基本協定書の中に明記し、守られない場合は、契約取り消しを含め指導していく。

委員 市がリストラを容易にするような雇用の流動化には



▲健全経営でさらなる充実が期待される済生館

懸念を持っている。現在の斎場の職員の雇用継続を、候補団体に強く求めていくべきではないか。

市民生活部長 候補団体には担当課長からも雇用を継続するようお願いしている。

委員 市立病院済生館に地方公営企業法の全部を適用した場合、一般会計からの繰り入れなどに影響はあるのか。

済生館管理課長 総務省からの通知による地方公営企業繰り出し基準に基づくため、これまでと変わらない。

委員 市長に権限が残る総合調整権とはどのようなものか。

済生館管理課長 病院事業は開設者である市長から病院事業管理者へ権限が移行されるが、予算の調整、議案の提出、決算の監査および議会の認定に付すること、過料を課すことは市長の権限として残る。

産業文教委員会

蔵王ジャンプ台整備用の
圧雪車を購入

委員 蔵王ジャンプ台整備用圧雪車の購入契約額である4452万円は適正な価格か。

スポーツ保健課長 過去の他市の契約状況を考慮した額であり、適正だと考える。

委員 総合スポーツセンターなど14カ所の体育施設の指定管理を市体育協会に行わせるメリットは何か。

スポーツ保健課長 施設ごとに指定するより人件費や修繕費などの共通経費を削減することができ、1カ所で他施設の申し込みもできるなど、利便性の向上も図られる。

委員 農業研修センターの施設利用に空きがあるような印象を受けるが、利用者を増やす努力はしているのか。

農政課長 冬期間は、落雪などの関係で夜間と土曜日は屋内運動場などを使用していなかった。今後、除排雪の検討を行い、使用できるよう改善して利用率の向上を図っていく。

委員 上山市区域の蔵王みはらしの丘に住む児童をみはらしの丘小学校で受け入れるとのことだが、卒業後に進学する

る中学校はどうなるのか。

学校教育課長 上山市の児童は上山市立北中学校に進学することとなる。

委員 新産業団地には送電線が通っているが、線下補償の対象となっているのか。

商工課長 高圧線の下については緑地にすることを計画しており、新たな地役権などの権利は発生しない。

委員 指定管理者の審査は非公募施設でも行っているが、得点比率が低い場合はどうなるのか。また、その基準などはあるのか。

観光物産課長 全体的な審査基準として60%以上のものを指定管理者として認めており、基準を満たさない場合は再審査も考えられる。

委員 産業歴史資料館が再審査となった理由は何か。

商工課長 審査会での資料や説明が不十分だったため、得点比率が60%未満となり後日再審査となった。

委員 産業歴史資料館や郷土館など本市の歴史を統合し、総合的に展示できる施設を街なかで作ってはどうか。

商工課長 中心市街地活性化基本計画の中で、来街者が満足できる施設を新たに展開するように検討していく。



▲観光案内所は旅行客の心強いパートナー

委員 山形駅にある観光案内センターの在り方は、どのように考えているのか。

観光物産課長 平成26年度は東北六魂祭やASPACなどが開催されるため、JR東日本とも協議して、現在の観光案内センターを改修の上、駅待合室内にインフォメーションセンターを設ける予定である。

環境建設委員会
済生館前駐車場の定期駐車の利用時間を拡大

委員 下水道条例の改正で、図面複写手数料はどのように算出しているのか。また、他の自治体の料金はどうか。

上下水道部総務課長 用紙代、人件費、機器賃借料などの経費と、1日あたりの図面発行可能枚数などから料金を算出している。手数料は自治体それぞれの方があり、近隣では南陽市、新庄市、山辺町が400円、県外では仙台市が300円である。

委員 下水道条例の改正により、水道管路に加え下水道管路もシステムから図面を発行するようになるが、現在の対応状況はどうか。

教えて! 議会用語

Q 継続審議ってなんだべニ?

A 議会に提出された議案などで、その議会の期間中にどうしても結論が出せない場合に、議会の閉会中や次の議会で引き続き審議することだよ。今回の議会では、山形市公契約条例の設定の議案をもっと詳しく、より慎重に議論するために、9月に開催した議会から引き続き継続審議となったんだよ。

※1 地方公営企業法の全部を適用…地方公営企業法を公立病院の財務規定だけでなく、組織や職員の身分規定など同法の全ての条文を適用すること。
 ※2 ASPAC…国際青年会議所 アジア太平洋地域会議。平成26年6月4日～7日に山形市で開催予定。

委員 図面が必要なのは大半が事業者だと思つ。各種図面複写手数料の新設で、事業者の負担が増えるのではないかと。下水道建設課長 下水道管路は必要な部分の図面入手が可能だが、ほかの市営駐車場

能となる。また、水道管路と同一窓口での手続きが可能となり、利便性が向上する。負担は増えると思うが、理解をいただきたいと考えている。
委員 市営駐車場条例の改正で、済生館前駐車場の早期の混雑を解消するため、昼間定期駐車の利用時間を拡大することの

請願・陳情

12月定例会で審議された請願は、新たに提出された2件と継続審査中の1件です。陳情は、新たに提出された1件を所管の委員会に配付しました。結果は以下の通りです。
(※印は請願者による意見陳述が行われたものです。)

請願	提出名	紹介議員	所管委員会	結果
第7号	特例水準解消(年金2.5%削減)の中止を求めるとについて 全日本年金者組合山形支部 支部長代行 太田 有紀	阿曾 隆	厚生	不採択
第8号	免税軽油制度の継続を求めるとについて 東北索道協会山形地区部会 部会長 岡崎 宏一 ほか1人	斎藤 淳一元 齋藤 遠藤	総務	採択
第9号	児童福祉による保育実施の安定と保育環境の保障を求めるとについて 山形市民間立認可保育所連絡協議会 会長 海和 宏子	斎藤 淳一元 遠藤 久一 藤野 吉誠	厚生	採択
第2号	(仮称)「山形市公契約条例」について 一般社団法人山形県ビルメンテナンス協会 会長 黒田 美喜男 ほか1人		総務	継続審査
第3号	森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求めるとについて 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳		総務	配付のみ

●議決の結果は、16ページの「議案の賛否一覧表」をご覧ください。

への要望などはないのか。また、要望があった場合はどのように対応するのか。
道路維持課長 済生館前駐車場は、平成25年10月7日付けで済生館から要望書の提出があったが、ほかの市営駐車場への要望などは出ていない。要望があった場合は柔軟に対応していきたい。



▲定期駐車の利用時間拡大で早朝の混雑を解消

意見書(要旨)

12月定例会で可決された意見書は2件です。いずれも関係機関に送付しました。

免税軽油制度の継続を求める意見書

これまで冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の発展に貢献してきた免税軽油制度が、平成27年3月末で廃止される状況にある。免税軽油制度は、道路を走

らない機械の動力源として使用する軽油について、軽油取引税を免税する制度で、船舶、鉄道、農業・林業、製造業などに幅広い事業の動力源の用途などに認められてきた。
スキー場産業では、索道事業者が使うグレンデ整備車、降雪機等を使う軽油が免税となっており、この制度がなくなれば索道事業者は大きな負担増を強いられ、地域経済にも悪影響を与えられる。
よって、国においては、免税軽油制度を継続するよう、強く求める。

児童福祉による保育実施の安定と保育環境の保障を求める意見書

現在、子ども・子育て会議で議論されている公定価格の設定及び職員処遇や施設整備については、施設型給付の公定価格の設定において、保育・教育施設の種類によって給付価格に差が生じることが懸念される。施設の種類によって安定した運営が損ねられ、児童福祉の理念に基づく保育の実施主体が減少することで、児童福祉が大きく後退する恐れがあり、児童の健全な育成に多大なる影響を及ぼすと考えられる。

また、新制度では、保護者への個人給付が原則となるため、職員処遇や施設整備のための現行制度がなくなることに予想され、児童福祉を推進する職員の処遇やそれを実践する施設整備に大きな影響を与えることになり、施設運営への支障や施設に通う児童が危険にさらされる懸念がある。
よって、全ての子どもの健全な育ちと最善の利益を保障し、安心して子どもを産み育てることのできる環境を守るため、児童福祉の理念に基づく保育ができ、職員処遇や施設整備が確実に実施できる制度の実現に向け、次の事項について強く要望する。

- 1 公定価格は、保育所・幼稚園・認定こども園等の施設に種類に関係なく、等しく設定され、それぞれの施設が安定した運営ができるものとする。
- 2 職員処遇では、経験年数による給与の積み上げができ、安定して人材が確保できる待遇体系が構築できるようにすること。
- 3 施設整備では児童の安全確保のため、施設の耐用年数内で建て替えが可能となるよう、現行の安心こども基金を継続すること。

※1 索道…ロープウェイ、ゴンドラ、リフトなどの法律上の呼び名。
※2 公定価格…政府が定める商品やサービスの最高・最低・標準価格。

委員会名	日程	視察地	視察項目
議会運営委員会 (1班)	10月1日(火) 10月3日(木)	大阪府八尾市 大阪府大東市 大阪府堺市	議会運営および議会改革について
議会運営委員会 (2班)	10月21日(月) 10月23日(水)	三重県四日市市 愛知県一宮市 愛知県半田市	議会運営および議会改革について

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。今回は議会運営委員会の視察内容をお知らせします。

委員会 視察報告

議会運営委員会 (1班)

堺市は平成23年6月23日に議会力向上会議を設置し、議会基本条例の制定を始め、議員定数の見直しや議員報酬の減額、議会報告会の実施など様々な議会改革に取り組んでいます。議場を会場とした事前申し込み制の議会報告会や本会議場および委員会室への携帯端末などの持ち込みを解禁するなど特色ある議会活動を行っているほか、議員報酬は現在の任期中に限り特例措置により5%の減額、議員定数は次の選挙より現行の52人から48人に減員するなど積極的に議会改革にも取り組んでおり、本市の議会改革を進める上で大変参考になるものでした。



議会運営委員会 (2班)

四日市市は議会改革の先進地として全国的に知られています。議会活性化の取り組みとして、平成23年5月の議会基本条例の施行を始め、基本条例施行に伴う通年議会の導入や市長などに対する文書質問制度を実施しています。また、議会の透明化の取り組みとして、議会報告会にあわせた市民との意見交換を行うシティミーティングの開催、広報広聴委員会の設置、手話通訳の導入、定例会後の議長の記者会見など、議会全体が積極的な姿勢で取り組んでいます。議員の世代交代などがあっても、良いサイクルで改革と活性化の伝統が引き継がれており、本市の議会改革に大いに参考となる視察でした。

みみより情報

山形市 蔵王樹氷まつり

とき 2月～3月
ところ 蔵王温泉スキー場
内容 2月1日(土)午後7時30分から、上の台ゲレンデで行われる「雪と炎の饗宴」をはじめ、樹氷ライトアップなど期間中さまざまなイベントが行われます。
問い合わせ先 蔵王温泉観光協会案内所 ☎694-9328

中山町 柏倉九左エ門家ひな祭り

とき 3月1日(土)～4月3日(木) ※水曜日休日
午前10時～午後4時
ところ 中山町大字岡8 柏倉九左エ門家
内容 同家に伝承されているお雛飾りが展示されます。
【料金】高校生以上/500円、小・中学生/300円
問い合わせ先 柏倉九左エ門家 ☎662-3521

上山市 上山市民俗行事 加勢鳥

とき 2月11日(火・祝)午前10時～
ところ 上山城～市内
内容 ケンダイというミノをかぶった若者に水をかける民俗行事です。
問い合わせ先 上山市観光物産協会 ☎672-0839

山辺町 まんだらの里 雪の芸術祭

とき 2月8日(土)
ところ 作谷沢ふれあい自然館
内容 雪のオブジェや炎に囲まれる幻想的な祭りです。
問い合わせ先 作谷沢公民館 ☎666-2121

議会報研修会に参加

平成25年11月8日に、県市議会議長会主催の議会報研修会が新庄市で開催され、議会報委員3人が参加しました。

研修会は、株式会社電通パブリックリレーションズエグゼクティブアドバイザーの花上憲司氏を講師に迎え、「PRの視点から考える議会報づくり」の演題で行われました。PRとは、企業や行政・団体が、市民との間に双方向のコミュニケーション活動を通じて良好な関係を築く手段であることや、情報を受け取る側の気持ちをよく考えることが大切であることなどの説明を受けました。また、議会報を作成するに当たり、今後留意すべき点や検討すべき内容について学びました。研修の内容を生かし、これからも読みやすい「やまがた市議会報」を作ってまいります。



▲読み手のことを考える誌面作りを学びました

10月臨時会

平成25年10月28日に開催した10月臨時会では、蔵王ジャンプ台整備事業に関する圧雪車購入費および友好都市である東京都大島町への台風26号被害に対する災害見舞金に関する経費の補正予算が上程されました。

本会議の後、予算委員会を開会して当局から説明を受け、総務・産業文教の各分科会に分割付託の上、審査を行いました。

各分科会での審査の後、予算委員会で各分科会委員長の報告を受け、全会一致で可決すべきものと決定し、さらに本会議で予算委員長の報告を受け採決した結果、全員異議なく可決されました。



▲整備されたジャンプ台でより一層の活躍を

がんばれ、大島町！

全議員で

友好都市大島町へ

災害見舞金

本市の友好都市である東京都大島町は、平成25年10月の台風26号で甚大な被害を受けました。

これを受け、市民の皆さまからの義援金や市の災害見舞金とともに、本市議会全議員からの見舞金20万円を、25年11月14日に大島町を訪れた市川市長が川島理史町長、中村佳一議長へ贈呈しました。被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧と復興をご祈念いたします。

会議日誌

(10月)

24日 議会運営委員会
28日 10月臨時会
29日 本会議、予算委員会、総務・産業文教分科会、総務委員

9日 議会改革検討委員会、総務・厚生・産業文教・環境建設分科会
6日 総務・厚生・産業文教・環境建設分科会
5日 予算委員会、環境建設委員会

(11月)
11日 厚生委員会
12日 総務委員会
13日 議会改革検討委員会
21日 議会運営委員会
22日 環境建設委員会
28日 産業文教委員会

12月
3日 本会議(一般質問)、全員協議会、議会図書
25日 議会改革検討委員会
20日 議会報委員会
13日 議会史編さん委員会、本会議

12月
12日 12月定例会開会
13日 本会議、議会運営委員会
12日 12月定例会閉会
13日 議会報委員会

(2月)
20日 議会運営委員会
27日 本会議(開会)、議会運営委員会
3日 本会議(一般質問)

3月定例会の日程(予定)

(3月)
5日 本会議(一般質問)
6日 本会議(一般質問)
7日 予算委員会
10日 予算分科会(補正予算)
11日 議会運営委員会、予算委員会、本会議

20日 議会運営委員会
19日 予算委員会、全員協議会
17日 常任委員会
13日 予算分科会(新年度)
12日 委員会、本会議
12日 予算分科会(新年度)
13日 予算分科会(新年度)
20日 議会運営委員会
24日 本会議(閉会)

日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎(642) 8404

議会の活動を紹介します

市議会では、市民の議会への参加や議会の活性化に向け、日々活動しています。今回は、議会報告会、議員研修会などをご紹介します。

本市初の議会報告会を開催

本市初となる議会報告会を平成25年11月に市内8カ所の公民館で開催しました。今回の報告会でお寄せいただいた貴重なご意見は、全議員で共有するとともに、議会活動を通して今後の山形市の発展に繋げていきたいと考えています。ご参加いただいた市民の皆さま、誠にありがとうございました。

なお、この報告会は26年度以降も継続的に開催する予定です。議会ホームページや「やまがた市議会報」でもご案内いたしますので、市民の皆さまのさらなるご参加をお待ちしています。

新潟県立大学准教授 田口一博氏を迎えて議員研修会を開催

平成25年11月28日に、新潟県立大学准教授の田口一博氏を迎えて議員研修会を開催しました。市議会では、議会改革に向けた取り組みの中で25年4月1日に議会基本条例を施行しており、現在は議員定数、報酬、政務活動費の見直しを進めています。今回の研修会では、本市議会の状況を踏まえた議員定数、報酬、政務活動費への提言があり、今後の検討に大いに参考となる研修会でした。



▲議会制度の歴史的な経過をふまえて説明する田口氏

議会・議員に対する意識調査（アンケート）の実施

平成25年11月1日から29日にかけて、議会・議員に対する意識調査を実施しました。

このアンケートは、今後のより良い議会づくりの参考とさせていただきます。

なお、アンケートの結果は議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

パブリックコメントによる意見を募集します

本市議会で議論している議員定数、報酬、政務活動費の見直しについて、2月中にパブリックコメントの募集を予定しています。皆さまの貴重なご意見をお寄せください。

なお詳細は、議会ホームページをご確認ください。

編集後記

新しい年を皆様健やかに楽しく迎えられたでしょうか。今年も元気に活動して参ります。12月議会是指定管理者制度

について熱心に議論されました。分かりにくいかもしれませんが、私たちの生活に密接にかかわる大切な制度です。詳しいことは身近な議員に聞いてみてください。

初めての議会報告会を市内8カ所で開催いたしました。全議員が出席しましたが、市民からPR不足のご指摘をいただきました。一般質問では「みなし寡婦（夫）控除の適用」など生活に密着した質問が多く出されました。ぜひ傍聴においでください。議会もライブで聞くと面白いですよ。

議会報委員 伊藤美代子

ホームページをご覧ください

市議会ホームページでは、会議結果や議会改革の内容をより詳しく掲載しています。また、本会議などの生中継や録画配信も行っていますので、ぜひご覧ください。

